

議会だより



竹島って、どんなところかな?!

- 年頭所感……………P2
- 令和4年12月定例会・第4回臨時会……………P3
- 総括質疑……………P4
- 一般質問……………P5
- 委員長報告……………P9
- 議会と住民との懇談会のお知らせ……………P11
- 採決状況……………P12



ごか保育園では竹島の日に竹島カレーを食べたり、絵本を読んだり、久見竹島歴史館に行くなど、竹島に親しみを持つような取り組みをしています。



新年のごあいさつ

隠岐の島町議会 議長 池田 信博

明けましておめでとうございます。

町民の皆さまには輝かしい新春をお迎えになられたこととお慶び申し上げます。

未だ収束を見せない新型コロナウイルス感染症の拡大による、経済活動の縮小や昨年から続いている不安定な世界情勢、昨今の原油価格高騰などの影響による物価高などで町民の皆さまの暮らしは多大な影響を受け続けています。

しかしながら、感染症対策に対する皆さまのご協力、自努力により隠岐の島町にも徐々に活気が戻りつつあります。

隠岐の島町議会は、昨年9月の定例会において「隠岐の島町議会基本条例」を議員提案し、可決いたしました。

本年からは、地域へ出かけさせていただき、議会の報告や議会に対するご意見を伺う機会を設けることといたしました。

そして、私たちは、この条例制定の目的である「議会への町民参加、情報公開を進めることにより、町民の負託に応え、町民の福祉の向上、町政の発展」を常に念頭にし、皆さまの暮らしがより充実した年となるよう、町政に期待するとともに、議会の果たすべき役割に全力で取り組みます。

隠岐の島町が、より安心安全で豊かな町となり、大きな希望の持てる年となりますよう、皆さま方のご健勝とご多幸をご祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

議長 池田 信博

副議長 西尾 幸太郎

岡田 智子

牧野 牧子

藤野 定幸

齋藤 則子

田中 一隆

大江 寿

村上 謙武

菊地 政文

池田 賢治

安部 大助

前田 芳樹

石田 茂春

高宮 陽一

米澤 壽重

【議会議務局】

局長 村上 克樹

山本 幸子

竹内 伸子

12月定例会

令和4年12月定例会を12月8日から16日までの9日間開催しました。

主な議案は、令和4年度一般会計及び、特別会計補正予算、条例の一部改正、工事請負変更契約、指定管理者の指定、教育委員会委員の任命同意など34件が提案され、全会一致で可決・同意しました。町政に対しては、6名の議員が一般質問を行い、議案には2名の議員が質疑を行いました。

また、11月11日に第4回臨時会を開催し、令和4年度一般会計及び、特別会計補正予算、工事請負契約が提案され、全会一致で可決しました。

主な補正予算

◆各庁舎・公共施設・防犯灯等の管理費…2,574万円

燃料物価高騰等による影響で、電気代の増加が著しく、光熱水費を増額補正するもの。(一般会計・特別会計含む)

◆島後清掃センター基幹的設備改良事業…891万円

島後清掃センター1号炉ガス減温用熱交換器煙管の腐食が判明したため、早急に改修工事を施工するもの。



ガス減温用熱交換器煙管の破損

主な条例改正

◆隠岐の島町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

国の人事院勧告及び県の人事委員会勧告等を参考に、給料表の改定及び勤勉手当の支給率の改正を行う。

◆隠岐の島町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

正規職員の給料表の改定に伴い、改正を行う。

◆地方公務員法の一部を改正する法律の施行等に伴う関係条例の整備に関する条例

4月より、地方公務員の定年が65歳まで引き上げられるため、役職定年制に関する規定のほか、関係する条例について一括して所要の改正を行う。

主な工事請負変更契約

◆林道横尾北山線災害復旧工事

現地精査による法面工の増などにより、工事費を470万4700円増額する。

任命同意

◆教育委員会委員の任命同意

ふじの まさえ
藤野 雅栄 氏 (飯田)

【任期】 令和5年1月1日～令和8年12月31日

物品契約

◆学習者用・指導者用タブレット端末購入事業

5社による指名競争入札で、(有) 服部が4,177万8千円で落札。小学校1～4年生の児童、小・中学校で未配備だった教職員に配備される。



主な補正予算

◆電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金事業…1億800万円

電力・ガス・食料品等の価格高騰による負担を踏まえ、特に家計への影響が大きい低所得世帯(住民税非課税世帯等)に対し、1世帯あたり5万円を支給する。

◆物価高騰対策農業者・林業者支援事業…2,702万円

コロナ禍やウクライナ情勢の悪化、世界的なエネルギー価格の上昇を受けて、町内の農業経営者、畜産農家、林業者の事業継続を支援する。

工事請負契約

◆隠岐島木材業製材業協同組合内木材乾燥施設更新工事

指名競争入札で、(株) 新柴設備が5,749万7千円で落札。



木材乾燥機イメージ写真

予算・条例などを
チェック!

総括質疑

質疑した議員 ○高宮 陽一 ○前田 芳樹

紙面上、質問と答弁は要約した内容になって
おります。全文記録は議会事務局にあり、
ホームページにも掲載しています。

またYou Tubeにて動画も公開
しており、スマホやタブレットか
ら右のQRコードを読み取る
と簡単にアクセスできます。



町有施設の今後につ いて

高宮議員 質疑の前に
町長に確認する。「第二
次総合振興計画」は、本
町の最上位の計画か。

町長 「第二次総合振興
計画」は、本町の最上位
の計画である。

高宮議員 この最上位
の計画の中で、財政再建
にむけた取り組みとし
て「高齢者施設や観光
宿泊施設などは売却・譲
渡の方針」を決めている。
いつまでも指定管理者
制度を運用するのは如
何なものか。

町長 高齢者福祉施設・



観光宿泊施設など、民
間で出来るものは民間
でやるという形で職員
と共有しながら取り組
んでいる。決まっていま
でもという考えはない。

高宮議員 隠岐島油槽
所の指定管理について
どのような検討をして
きたのか。島内の民間企
業で運営する方針だっ
たと思うが。

環境課長 島内企業に
よる管理運営が必要と
の意見をいただいている
が、非常に専門性が高い
ことなどから、安全面を
考慮すると実績のある
業者に任せたい。

林地崩壊防止事業2 件の取り下げについて

前田議員 「林地崩壊防
止事業」6ヶ所を4ヶ所
に減らし、県支出金補助
金を388万5000円
減額しているが、この原
因は。

減らした2ヶ所は取
り下げとなっているが、
林地崩壊では即人命に
関わることであり重要
な事柄だ。具体的に何
処の場所か、本当に施工
の必要性が無くなった
のか。

農林水産課長 6ヶ所
の測量試験費が確定し
て、事業実施にあたり該
当者に自己負担の同意
を求めたところ、2ヶ所
の工事費の自己負担額
が非常に高過ぎて同意
できず、取り下げること
となったので、2ヶ所の
測量試験費を減額補正
した。

この事業は、県から補
助金を受けて町が実施
する事業であり、測量試
験費と工事費を合算し

た総事業費から控除額
100万円(今回、世帯
の中の最高所得者の住
民税課税標準額を基準
にして算出された額)を

差し引いた額の50%が
県支出金補助金、残り
50%の4分の3が町負
担、該当者個人が4分の
1を負担して事業が成
立する。2件の内の1件
は、安全性からして、今
後、県の類似した治山事

業でなんとか拾って貰う
見込みとなっている。

前田議員 該当者の課
税レベルが高かったから
補助金が減額されたら
ということか。また、民家
裏ではなかったのか。
農林水産課長 民家裏
である。個人負担の控除
分については所得と課
税標準額が高い方には
補助金は手厚くない。



町政に問う! 一般質問

紙面上、質問と答弁は要約した内容になって
おります。全文記録は議会事務局にあり、ホ
ームページにも掲載しています。
またYouTubeにて動画も公開
しており、スマホやタブレットか
ら右のQRコードを読み取ると簡
単にアクセスできます。



新年の伝統行事 今津とんど

町長

……町長答弁

問

……議員質問



あべ だいすけ 議員
安部 大助 議員

問 長引くコロナ禍
に加え、原油価
格や物価の高騰が我々
町民も含め国民生活に
影響を及ぼしている。
国はエネルギー・食品
価格等の物価高騰の影
響を受けた生活者や事
業者に対して「電力・
ガス・食料品等価格高
騰重点支援交付金」を
令和4年9月に創設し
た。国が示す交付金の
推奨事業は生活に困窮
されている世帯、医療・
福祉、農林水産業への
支援、商品券の発行と
なっている中、来年度
に向け物価高騰を考え

Q 物価高騰に対する
住民支援を。
A 必要に応じて対策
を講じる。



水道代



電気代



ガス代

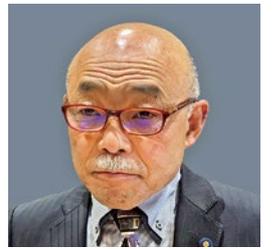


燃料代

負担が広がる光熱水費

た予算編成と支援策に
ついて町長の考えを伺
う。
町長 令和5年度の予
算編成について
は、物価高騰の影響や
今後の大型公共事業の
実施なども鑑み、さら
なる「選択と集中」に
より事業の見直しを行
い、新しい事業のあり
方という観点を持ち配
分することを基本とし
て編成していく。
支援策については国
や県の動向や町民生

活、経済への影響を常
に注視し、必要に応じ
て支援策を検討する。
問 交付金の対象事
業が限られてい
る中、他の自治体が行っ
ている公共料金や使用
料の減免、あるいは来
年度施行予定のゴミ料
金の値上げを先延ばし
すべきと考えるが。
町長 条例は条例とし
て、きちんとす
る。支援は支援として
進める。



ふじの 藤野 定幸 議員

Q 森林資源の更なる活用を。

A 「山を守る」「山を生かす」を原点に取り組む。

問 隠岐の島町の87%が森林であり、令和3年度の原木生産量は2万3563m³で、その内1万8424m³が島外出荷量、残りの原木から2103m³が島内外に製材品として出荷している。またペレットを150トン生産しており、木質バイオマス発電も試みている。
森林の役目として、洪水調整や山地災害の防止等公益的機能、多面的機能がある。今後「地球温暖化対策」を



隠岐産材のさらなるPRを

する中で、森林の果たすべき役割は大きい。林業の現状と今後の取り組みをどう考えているか。

町長 本町の森林資源は潤沢だが、生かされてない。今後50年先を見据え、「伐つて、使って、植えて、育てる」循環型林業を推進し、年間の木材生産量3万1000m³への増産に向けて取り組んでいく。
人材の確保が課題であり、新規就業者の確保、林業就業者の定着強化、次世代担い手の育成に力を入れて行きたい。

問 芸術の島「直島」で隠岐の木材が使用された。このようなことをアピールして戦略的に取り組み、島外への販路拡大を図るべきと考えるがどうか。

町長 大阪であった「林業関係のフォーラム」でも隠岐の産材をPRした。豊中市、高槻市などにもお願いしている。今後も積極的にPR活動に努めていきたい。カーボンオフセットやSDGsも含めて、原点は「山を守る」「山を生かす」から始まると思っている。



おかだ ともこ 岡田 智子 議員

Q 男性用個室トイレにサニタリーボックス(衛生用品を捨てる「ミニ箱」)の設置を。

A 順次実施していく。

問 前立腺がんや膀胱がんの手術後、頻尿や尿漏れ等の後遺症に悩み、尿漏れパッド等を使用する。がんになっても尊厳をもつて、安心して暮らせる社会の構築を目指すため、男性用個室トイレにサニタリーボックスの設置を検討してはどうか。

町長 前立腺がんや膀胱がんを患っている方々に限らず、高齢者の方々も安心して外出できるように順次実施していく。

Q 本土医療機関への通院費を調査・検討する考えは。

A 実態調査も含め、医療機関と制度設計に向けた検討を進める。

問 改正離島振興法が国会で成立したが、今期までの島根県離島振興計画においては「医療の充実を目指すため、本土医療機関受診に係る島民負担の軽減について」に記載されている。次期島根県離島振興計画ではどのような議論をしているのか。

町長 現行と同様に「妊婦検診や出産に係る交通費や宿泊費等に対する支援の実施」について検討している。また、改正離島振興法において「離島に係る遠隔医療の実施等による医療の充実」について特別の配慮規定が追加され、圏域内の医

療完結率が向上すると考えている。

問 島内で実施ができない治療は本土医療機関を受診しなければならぬが、渡航費・滞在費など経済的負担が大きい。また、本年度の事務事業外部評価も「本土医療機関で治療が必要となった場合の助成制度が必要不可欠である」と提言している。患者さんの実態や声を調査し、検討する考えは。

町長 島外通院費の助成制度創設について実態調査を含め、医療機関と制度設計に向けた検討を進めていきたい。



島外通院費の助成制度創設を



議員 牧子 牧野

Q ごみ処理制度の延期の考えは。

A 令和5年4月施行後も周知徹底していく。

問 令和4年秋に担当課による住民説明会が行われた。「カラス対策・悪臭防止等の理由で自己搬入をしている。」「料金改定前にごみの発生抑制、排出方法などの対策をすべきではなかったのか。」など、住民からの質問や意見があったが、それに対する返答はどのようにされるのか。

町長 その場で回答出来ない案件については改めて説明を行う。また、課題や問題

についての要望などは廃棄物減量等審議会で調査研究する。意識の向上は重要であり今後、商工会等とも連携し取り組む。

問 島根県内で平成31年の調査結果と比較すると、ごみの排出量は増加し、リサイクル率は最下位といった結果が出ている。もつと早期から啓発活動をするべきではなかったのか。料金改定で解決できるのか。

町長 啓発活動は十分であったと反省しなければならぬ。今後は積極的に啓

発活動を行っていく。料金改定により多少のごみ減量になると思うが、ごみの減量化は環境保護や財政のためになるなどの働きかけが重要だと思ふ。

問 物価高騰はまだ続くと予想されていることから周知徹底をしてから料金改定をする考えは。

町長 啓発活動は積極的に取り組み、生活支援についての制度延長ではなく「支援は支援」「制度は制度」住民に寄り添う施策をして行く。



春から商業施設に設置予定の古紙専用回収ボックス



議員 菊地 政文

Q 塩の浜観光施設周辺の環境整備を。

A 効果的な管理を協議している。

問 塩の浜（都万地区）の観光施設周辺の環境整備が出来ていない。体制を整えるべきでは。町長が町観光協会会長であるので新たな決断と実行を

してはどうか。

町長 塩の浜周辺は管理する範囲が広く維持管理に苦慮している。管理事業者の規模や専門業種との業務量のバランスが適当であるかなど、効率よく効果的に管理できる方法を協議している。町観光協会として、きちんとした組織として精

一杯頑張っていきたい。

Q 高齢者施設も含めた魚食普及を。

A 高齢者施設への提供は予算的に困難である。

問 学校給食において、魚食の普及を健康面からの教育と絡めて図っていくことに支援が必要だと感じている。島内需要拡充策として高齢者介護施設などにも地魚の提供をすべきだ。

町長 魚食文化や水産業の振興に寄与する目的で令和2年度より「離島漁業再生支援交付金」を活用して島内の保育所に月に2回無償提供している。高齢者福祉施設においては予算的に困難であると考えている。



Q 管理されていない森林、危険木の環境整備を。

A モデル区域を設定し進めていく。

問 所有者不明の森林や管理不足による生活道路、歩道に覆い被さる雑木、危険木など対策を含め、森林管理制度、環境譲与税などを活用した環境整備の推進に向けた町の取り組みは。

町長 林業の長期低迷により林業に携ったことの無い方への所有者の世代交代、島外所有者の増加などの要因から「森林経営計画」の面積割合も全体の約半数にとどまっている。森林経営管理制度導入については林業振興を図るうえでも必要だと考えているが、導入後の事務量の把握や職員の体制、業務委託などの検討が必要であることから、まずモデル区域を設定し進めていく。



まえだ よしき 議員

Q「障がい者控除対象者認定書」の周知徹底と交付方法の変更を。

A周知を図り申請手続きに支援を行う。

問 「障がい者控除対象者認定書」の交付申請手続き制度の周知をより徹底してはどうか。介護保険の要介護認定を受けている65歳以上の人は、障がい者手帳が無くても、市町村から「認定書」の交付を受けて提示すれば、所得税で1人当たり27万円、住民税で26万円、の所得控除の対象者として税の軽減措置を受けられる。これまでの交付申請方式を改めて、全員に「認

定書」を交付する方式に変更してはどうか。

町長 より一層の制度の周知を図って行く。要介護認定者に一斉に交付することは考えていない。「認定書」の申請手続きについて一層の支援を行うていく。

Q小中学校給食費の全額無償化を。

A現在のところ、考えていない。

問 少子化の趨勢に照らせば、このままでは本町は遠からず沈没しかねない。給食費の半額減額措置が実行されてはいるが、もう一歩踏み込む必要がありはしないか。最近、本町でも「子供食堂」が開設されたという報道があった。いよいよそういう事態になったのかと感じた。物価高騰も重なり給食費が子育て世帯の重い

負担となっているという。

令和4年10月末時点で小中学校とも全額無償化した地方自治体が全国で256にまで増加している。本町の給食費は、小中学校生989人で総額5275万円余になるとしている。本町の財政支出規模から無償化財源は捻出できそうには映る。

少子化抑止のためには、全国的な傾向に遅れを取らず、他の自治体の後塵を拝することなく先陣を切って取り組み、小中学校給食費を全額無償化し、本町が子育てしやすい環境にあることを島内外に喧伝してはどうか。

町長 財源確保が持続的に可能か、一律の無償化に問題はなにか、等を考慮する必要がある。今後も幅広い子育て支援策を検討して行くが、現在のところ給食費の全額無償化は考えていない。

公共施設の指定管理者の指定

(指定期間は、全て令和5年4月1日～令和10年3月31日まで)

施設の名称	指定管理者となる団体の名称	公募／非公募
国民保養センター羽衣荘	株式会社 隠岐プラザホテル	公募
ホテル海音里 深浦ログハウス	株式会社 五箇の郷	公募
ロッジおくつど等 コミュニティ・アイランド施設	イコール株式会社	公募
隠岐ユネスコ世界ジオパーク中核 ・拠点施設	(一社) 隠岐ジオパーク推進機構	非公募
隠岐島油槽所	株式会社ニヤクコーポレーション	非公募

当委員会に付託された令和4年度補正予算および条例の一部改正等の議案は審査の結果、全て原案通り「可決すべし」としたので、主なものを報告する。

物価の高騰を想定した予算編成を

審査の状況・結果

◆各庁舎・各公共施設の光熱水費補正について

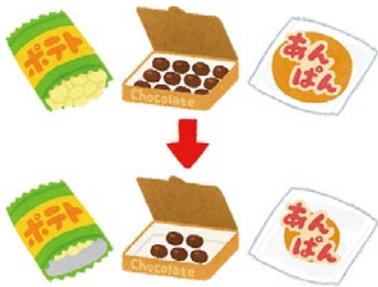
世界的情勢の影響による物価高騰から各庁舎や各公共施設の光熱水費、防犯灯などの光熱費が当初の見込みから大幅に値上がりしたことで、増加分を補正予算で対応するものである。

委員からは「節約の効果はないのか」などの意見があったが、執行部からは「今回の光熱水費の高騰は節約の問題ではなく、基本料金自体が上がっているため補正予算で対応することにした」との回答であった。

委員会としては、物価や光熱水費の高騰はわかる。しかし、節約していく姿勢は忘れないうちに励んでいただきたいと指摘した。今後物価高騰がある程度見込んだ予算編成を要望しておきたい。



共同下宿予定のホテルMIYABI別館



◆県立高校施設（隠岐水産高校寄宿舎）整備事業について

寄宿舎整備に着手している間の共同下宿が課題となっていたが、ホテルMIYABIに協力いただくことになり、備品を整備するものである。

9月議会でも指摘したように、生徒の受け入れに支障をきたさないように要望した。

所管の調査事項

◆旧CTU建物活用事業の状況について

旧CTU建物を用地取得交渉材料から除外したことから、委員会では今後の建物活用方法についての方向性を執行部に確認した。4月からの利用開始を目指して改修工事をし、町の施設として貸し出すということであるが、

委員からは「交渉材料として取得した建物をいつまでも持つておくのもどうか」「改修を急がずに旧CTU建物をどうするかを再検討するべきだ。場合によれば改修を先延ばしにしてもよいのではないか」などの意見があり、今後もし引き続き慎重に対応するよう指摘し、執行部からは、再度検討するとの答弁があった。



町有観光施設の魅力アップと適正な管理運営を

審査の状況・結果

◆観光施設指定管理者の指定について

宿泊観光施設の「羽衣荘」、「ホテル海音里・深浦ログハウス」、「あいらんどパークホテル・コテージ、ログハウス」の3施設の指定管理者の指定に関し、委託先の選定及び指定管理料の算定基準、施設の管理計画等について説明を求めた。

委員からは「今後20年30年、これらの施設の長寿命化を図りながら指定管理を続けていくのか」「同じ宿泊施設で指定管理料をとっていないケースもあり、一貫性が見られないが町の指定管理に関する考えは」などの質問が出た。

担当課より「施設の運用に関しては、長寿命化計画と並行し、施設の譲渡・売却なども

関係部署と協議しながら準備を進めている」また、「指定管理料に関しては指定管理運用ガイドラインの中に明確な基準が規定されていないことが要因であり、今後しっかりと庁内協議を進めていく」との説明があった。



さらなるコンテンツの充実とPRを

ジオパーク中核・拠点施設の指定管理に関しては、「隠岐自然館」の展示内容が魅力に欠け、その結果、児童生徒のリピーターが減っ

ているのではないか」「観光客、島民にとって利便性があり、魅力を感じる施設とはなっていないのではないか」「PR不足ではないか」など、委員からは管理運営に関する面で、改善・工夫を要する旨の多くの意見が出た。

これらの意見に対し、「自然館の展示・企画のあり方については、研究員、施設職員と共に魅力アップに繋がる取り組みを入れていく」また「学校教育や社会教育の面でも、ジオパーク施設の利用を促す働き掛けやPRについて、更なる努力が必要であるとの認識を持ち、今後も努力していく」との説明があった。

委員会として、隠岐の島町観光協会と隠岐ジオパーク推進機構がもっと連携を図る必要性を指摘した。

所管の調査事項

◆隠岐郷土館、五箇創生館等の管理運営

隠岐郷土館、五箇創生館等の観光施設の今後の事業計画等について説明を求めた。

これらの施設については、観光面だけではなく、地域住民が何度も足を運びたくなる魅力ある観光エリア作りを目指し運営していく。

特に、五箇創生館については、企画展示の充実を図るだけでなく、ミニシアターを活用した隠岐の歴史や文化、自然などの情報発信機能を有する施設となるよう、施設設備の改修等も含め、コンテンツの充実を図っていくとの運営方針の説明があった。

◆隠岐温泉GOKA

隠岐温泉GOKAでは近年、泉源の揚げ湯量の減少や湯温の低下

傾向が見られており、現状を把握するため、第2泉源の予備調査を実施した。

調査の結果、今後も泉源を維持していくためには、井戸の詳しい現状把握と対策工事等の必要性の有無を判断するために、本格的な調査が必要であるとの調査結果であった。

当該施設は大規模改修をしないと示されている。しかし、泉源の利用方法は明確に示されておらず、井戸の本格的な調査・改修工事を行う前に、隠岐温泉GOKAの施設運営に関する十分な協議と、住民への説明が不可欠といえる。



温泉の将来像は

議会と住民との懇談会を開催します

開催時期	開催地区	会場・開催日時	参加議員	懇談会の内容
春季 4月～5月	西郷地区 ①	※各地区の会場および開催日時は、各地区の皆さんと相談し決定します	8名	① 当初予算・町政等の説明 (約30分) ② 意見交換会(約1時間) ・小グループに分かれ、参加者と議員が意見交換を行う
	西郷地区 ②		8名	
	都万地区		8名	
	五箇地区		8名	
	中村・布施地区		8名	
秋季 10月～11月	西郷地区 ①		8名	① 決算・町政等の説明 (約30分) ② 意見交換会(約1時間) ・小グループに分かれ、参加者と議員が意見交換を行う
	西郷地区 ②		8名	
	都万地区		8名	
	五箇地区		8名	
	中村・布施地区		8名	

議会では、議会基本条例を制定するにあたり、地域の皆さまと直接お話をする場を設け、住民の声を町政に反映できるように、定期的に住民との懇談会を開催することを定めました。

町民のお役に立てる、力になれる議会となるためには、地域の皆さまから直接お話を伺い、意見交換をすることが不可欠であると考えているところです。

また、各地区での議会と住民との懇談を開催するにあたり、区長・自治会長をはじめ、住民の皆さまのご理解とご協力がなければ、懇談会を開催することは困難であると考えていますので、ご協力頂きますようお願い致します。

議会のことについて、ご意見や要望等ございましたら気軽にご連絡ください。

連絡先 隠岐の島町議会事務局

TEL 08512(2)8568

FAX 08512(2)3396

重要決議を可決！

定例会の最終日に「物価高騰への支援策」について議員発議が提出され、全会一致で可決しました。

電気・ガス料金の値上げ及び物価高騰等による町民生活に対する支援を求める重要決議

出口の見えないコロナ禍において、来年度からは、電気料金・ガス料金の値上げや生活用品の更なる値上げ、本町では一般廃棄物手数料、し尿処理手数料の値上げなど、町民の生活は一段と厳しくなり、回復しつつある地域経済や消費も落ち込むことが想定される。

国や島根県においては、物価高騰に対する支援策は打ち出しているものの、事業者や低所得者、子育て世帯などに限られており、町民全体には支援が届いていない。

さらなる物価高騰による町民生活にも十分に留意し、減免措置や更なる支援策を求めるものである。

[決議文より抜粋]

採決の状況

第4回 臨時会 全会一致で可決した議案

令和4年度一般会計補正予算(第4号)	令和4年度訪問看護事業特別会計補正予算(第2号)
工事請負契約の締結について〔隠岐島木材業製材業協同組合内木材乾燥施設更新工事〕	

12月 定例会 全会一致で可決・同意した議案

令和4年度一般会計補正予算(第5号)	令和4年度国保事業勘定特別会計補正予算(第3号)
令和4年度国保施設勘定(中村診療所)特別会計補正予算(第2号)	令和4年度国保施設勘定(五箇診療所)特別会計補正予算(第2号)
令和4年度国保施設勘定(都万診療所)特別会計補正予算(第2号)	令和4年度下水道事業特別会計補正予算(第4号)
令和4年度訪問看護事業特別会計補正予算(第3号)	令和4年度布施へき地診療施設事業特別会計補正予算(第1号)
令和4年度五箇へき地診療施設事業特別会計補正予算(第1号)	令和4年度中財産区特別会計補正予算(第1号)
令和4年度後期高齢者医療保険事業特別会計補正予算(第2号)	令和4年度上水道事業会計補正予算(第2号)
隠岐の島町地区集会施設設置及び管理条例の一部改正	特別職の職員で非常勤のものものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正
都市計画審議会条例の一部を改正	隠岐の島町議会の議員及び長の選挙における選挙運動の公営に関する条例の一部改正
隠岐の島町職員の給与に関する条例の一部改正	隠岐の島町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正
地方公務員法の一部を改正する法律の施行等に伴う関係条例の整備に関する条例	隠岐の島町職員の高齢者部分休業に関する条例
公有水面埋め立てに係る意見について	町道路線の認定、変更、廃止について
工事請負変更契約の締結について〔林道横尾北山線災害復旧工事〕	工事請負変更契約の締結について〔公共下水道管路布設(2号幹線その9)工事〕
工事請負変更契約の締結について〔公共下水道管路布設(有木8工区)工事〕	損害賠償の額を定め和解することについて
訴え提起前の和解(即決和解)について	物品購入契約の締結(学習者、指導者タブレット端末)
〔同意〕 隠岐の島町教育委員会委員の任命同意について	
〔決議〕 電気・ガス料金の値上げ及び物価高騰等による町民生活に対する支援を求める重要決議	



令和4年12月4日に
隠岐島文化会館大ホールで開催された「今こそ
GENKIに生きよう
フェスティバル」に出演
しました。演目は「東京
音頭」をコロナ禍で変
わっていった盆踊りの
ストーリーで演じまし
た。振り付けも自分たち
でアレンジして「みんな
を元気に、我々も元気に、
元気があれば何でもで
きる」をモットーに満足
いく演劇ができました。

(文責) 大江 寿

編集後記